

# 比嘉民族芸能保存会

交流  
部門

## 先人の思い地域愛と共に獅子舞うふるさとづくり (平成22年度認定)



比嘉民族芸能保存会のある比嘉地区は旧城辺町にあり、復帰後すぐに土地改良事業に取り組み、現在も住民の9割以上が農業に従事するなど、大変農業の盛んな地域である。

その中で、約100年前から旧二十日正月にのみ行われてきた門外不出の獅子舞を後世に伝えると共に、地域の活性化につなげようと、平成9年に地域の若者達を中心となり「比嘉民族芸能保存会」を結成した。

「旧二十日正月」の獅子舞ではなく、中学校の体育館落成式の厄払い、旧ぐすくベフェスト、宮古まつり、全日本宮古トライアスロン宮古島大会、クイチャーフェスティバル、離島フェアなど様々なイベントに参加し活動の幅を広げ、地域内外の交流に寄与している。その後平成16年に無形民俗文化財指定を受け、獅子舞を区民全体が中心となって守り次世代への継承・発展という共通の目的意識を持つに至り、【先人の思い地域愛と共に獅子舞うふるさとづくり】に取り組んでいる。

